

当ファンドの仕組みは次の通りです。

第9期

運用報告書(全体版)

アジアハイ・イールド 債券オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【2020年11月17日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「アジアハイ・イールド債券オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、2020年11月17日に第9期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月18日から2021年11月17日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に実質的に投資し、金利収入を獲得しつつ、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。 ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	為替ヘッジなし	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	<p>毎年11月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みません)等の全額とします。</p> <p>繰越分を含めた配当等収益には、マネー・リクイディティ・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>原則として収益分配後の基準価額が当初元本(1口当たり1円)程度となることを目処に分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>	

【為替ヘッジあり】

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
5期(2016年11月17日)	10,039	350	3.8	251.418	10.9	0.2	92.1	173
6期(2017年11月17日)	10,012	350	3.2	267.143	6.3	0.3	92.9	149
7期(2018年11月19日)	9,302	0	△7.1	255.881	△4.2	0.4	94.2	110
8期(2019年11月18日)	10,004	10	7.7	289.983	13.3	0.4	97.7	79
9期(2020年11月17日)	10,036	50	0.8	302.871	4.4	0.4	97.4	80

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は、当該日前営業日の現地終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		債組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2019年11月18日	円	%	ポイント	%	%	%
	10,004	—	289.983	—	0.4	97.7
11月末	10,026	0.2	290.797	0.3	0.6	98.3
12月末	10,024	0.2	292.171	0.8	0.4	98.0
2020年1月末	10,064	0.6	294.235	1.5	0.4	97.6
2月末	10,098	0.9	296.616	2.3	0.6	97.1
3月末	8,884	△11.2	260.123	△10.3	0.5	96.3
4月末	9,187	△8.2	272.833	△5.9	0.5	96.3
5月末	9,488	△5.2	282.403	△2.6	0.5	97.9
6月末	9,710	△2.9	291.978	0.7	0.4	97.5
7月末	9,893	△1.1	297.424	2.6	0.6	97.2
8月末	10,014	0.1	302.227	4.2	0.6	95.6
9月末	9,950	△0.5	297.624	2.6	0.6	97.7
10月末	10,018	0.1	299.595	3.3	0.4	97.3
(期末) 2020年11月17日	10,086	0.8	302.871	4.4	0.4	97.4

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

【為替ヘッジなし】

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
5期(2016年11月17日)	9,345	0	△6.8	27,339.23	△2.2	1.3	94.8	806
6期(2017年11月17日)	10,007	150	8.7	30,179.10	10.4	1.9	92.4	805
7期(2018年11月19日)	9,493	0	△5.1	28,845.44	△4.4	2.6	94.7	599
8期(2019年11月18日)	10,007	150	7.0	31,555.92	9.4	0.6	97.1	435
9期(2020年11月17日)	9,819	0	△1.9	31,643.96	0.3	0.4	98.2	395

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2019年11月18日	円 10,007	% —	ポイント 31,555.92	% —	% 0.6	% 97.1
11月末	10,102	0.9	31,859.69	1.0	0.5	103.4
12月末	10,125	1.2	32,010.22	1.4	0.3	97.5
2020年1月末	10,138	1.3	32,089.31	1.7	0.3	97.2
2月末	10,218	2.1	32,458.63	2.9	0.5	98.9
3月末	8,950	△10.6	28,309.21	△10.3	0.5	97.9
4月末	9,103	△9.0	29,157.67	△7.6	0.5	98.2
5月末	9,465	△5.4	30,366.83	△3.8	0.5	98.1
6月末	9,710	△3.0	31,457.73	△0.3	0.4	98.4
7月末	9,621	△3.9	31,110.53	△1.4	0.6	98.3
8月末	9,815	△1.9	31,842.67	0.9	0.6	98.4
9月末	9,795	△2.1	31,488.66	△0.2	0.6	98.7
10月末	9,758	△2.5	31,337.66	△0.7	0.4	98.7
(期末) 2020年11月17日	9,819	△1.9	31,643.96	0.3	0.4	98.2

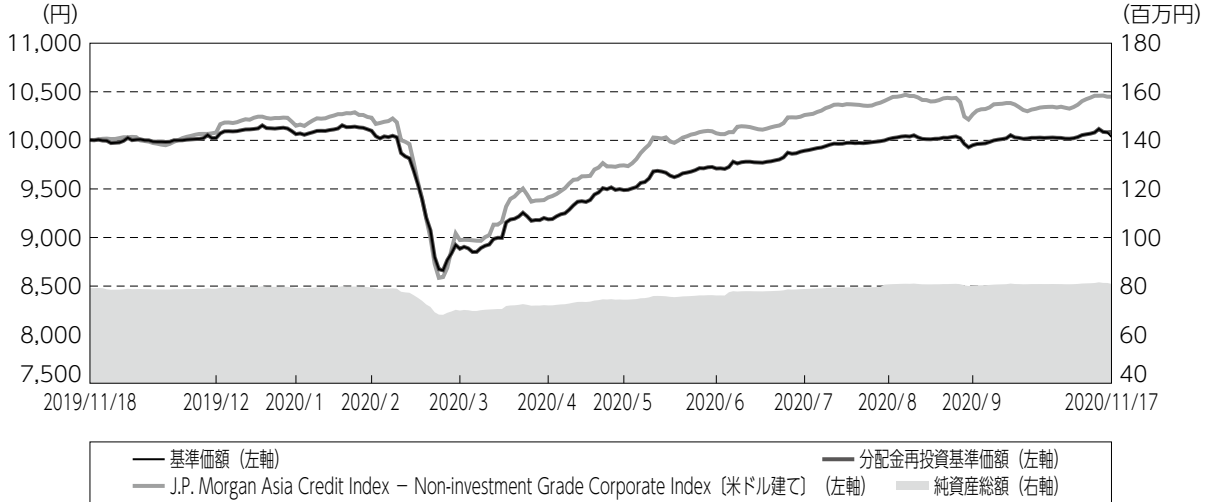
(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2019年11月19日～2020年11月17日）

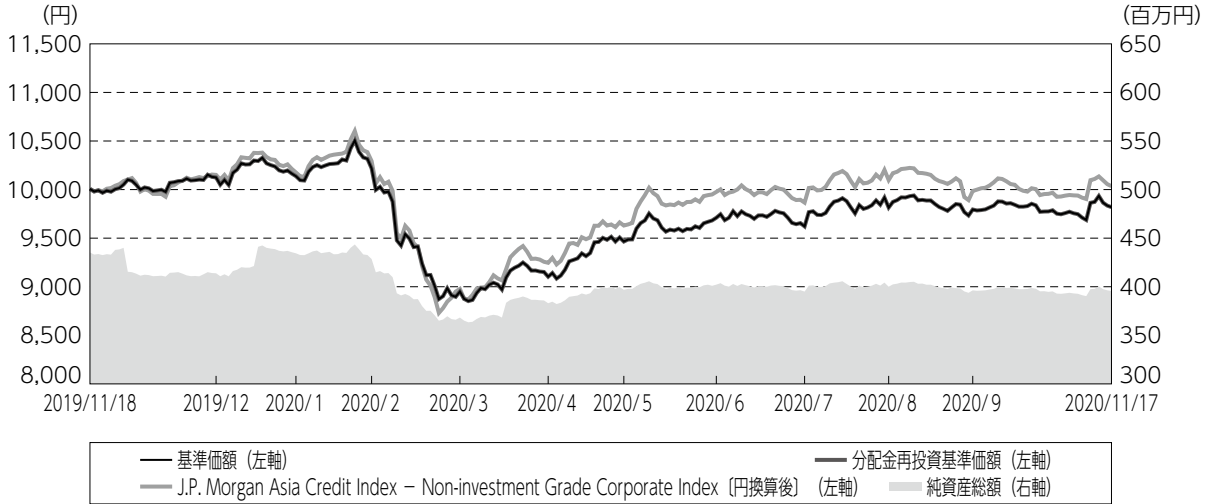
【為替ヘッジあり】



期首：10,004円
 期末：10,036円（既払分配金（税引前）：50円）
 騰落率：0.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2019年11月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



期首：10,007円
 期末：9,819円（既払分配金（税引前）：0円）
 騰落率：△1.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2019年11月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

＜アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジあり）＞

当ファンドの主要投資対象である「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・投資対象としたマザーファンドにおいて、一部の保有債券の利回りが低下し、債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- ・特にありません。

＜アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジなし）＞

当ファンドの主要投資対象である「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・投資対象としたマザーファンドにおいて、一部の保有債券の利回りが低下し、債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- ・為替市場で米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

投資環境

（2019年11月19日～2020年11月17日）

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は、上昇しました。期初から2020年2月中旬までは、良好な経済指標や米中両国が通商協議における第一段階の合意文書へ署名し、米中の緊張が緩和したことなどが支援材料となり、緩やかに上昇しました。2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、投資家心理が悪化したことや原油価格の急落を受けて、大幅に下落しました。しかしその後は、各国の中央銀行や政府による政策や経済活動の再開に向けた動きに加え、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展期待などが支援材料となり、概ね上昇基調で推移しました。ただ9月中旬以降は、米中摩擦の激化への懸念や欧米などで新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことなどを背景に、軟調な推移となりました。

為替市場は、米ドルが対円で下落しました。期初から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議の進展期待や英国の合意なき欧州連合（EU）離脱への懸念が和らいだことを受けて、米ドルが対円で緩やかに上昇しました。しかしその後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや米連邦準備制度理事会（FRB）による大規模な金融緩和などを背景に、米ドルは対円で軟調に推移する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2019年11月19日～2020年11月17日）

<アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に維持するとともに、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の組入れを継続しました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象として運用を行いました。

<アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に維持するとともに、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の組入れを継続しました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。当期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

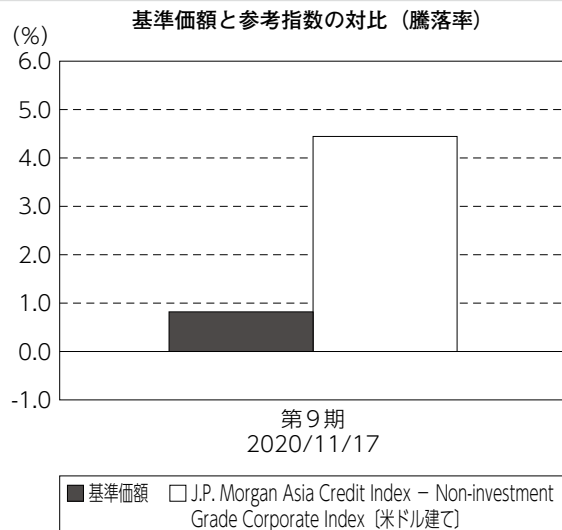
前述をご参照ください。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年11月19日～2020年11月17日）

【為替ヘッジあり】

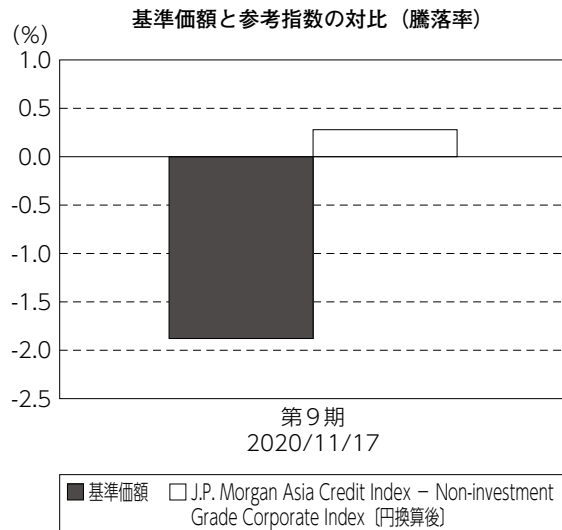
当期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]」を3.6%下回りました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。

【為替ヘッジなし】

当期間における当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]」を2.2%下回りました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。

分配金

（2019年11月19日～2020年11月17日）

<アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジあり）>

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期は1万口当たり50円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第9期
	2019年11月19日～ 2020年11月17日
当期分配金	50
(対基準価額比率)	0.496%
当期の収益	50
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,835

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジなし）>

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期は基準価額の水準などを勘案し、分配を見送りました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第9期
	2019年11月19日～ 2020年11月17日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,151

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象として運用を行います。また、資産の組入れにあたっては、取得時において信用格付業者等から第2位（A-2格相当）以上の格付を得ており、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。

<アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

前述をご参照ください。

【為替ヘッジあり】

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年11月19日～2020年11月17日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	110 (43) (64) (3)	1.130 (0.439) (0.658) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.013 (0.013) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	111	1.143	
期中の平均基準価額は、9,779円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

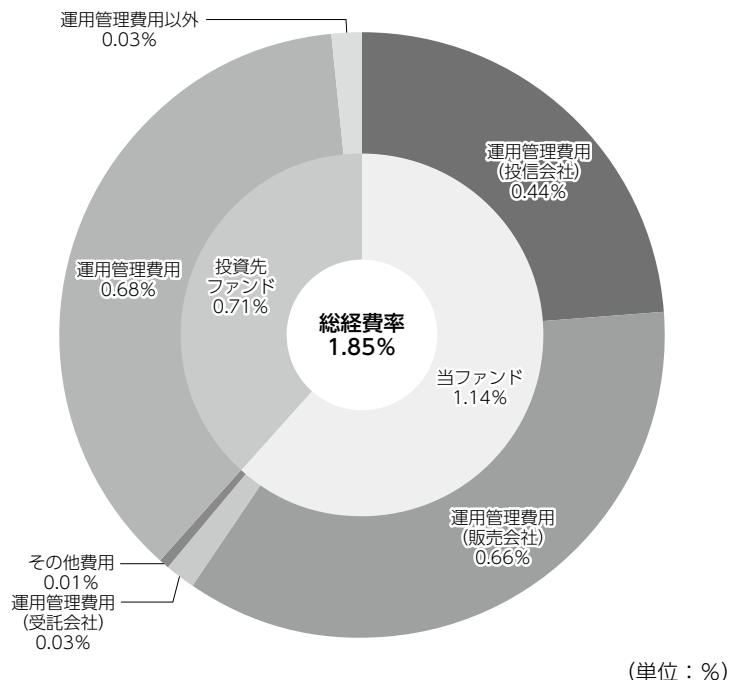
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



総経費率 (①+②+③)	1.85
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月19日～2020年11月17日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	6,165,621	4,700	—	—

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未满是切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月19日～2020年11月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期 首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)		95,354,127	101,519,748	78,769	97.4
合 計		95,354,127	101,519,748	78,769	97.4

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨て。

親投資信託残高

銘	柄	期 首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	額
マネー・リクイディティ・マザーファンド		502	502	502	502

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年11月17日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
投 資 信 託 受 益 証 券	78,769		96.3
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ェ ン ド	502		0.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,484		3.1
投 資 信 託 財 産 総 額	81,755		100.0

(注) 評価額の単位未满是切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年11月17日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	81,755,407
コール・ローン等	2,483,443
投資信託受益証券(評価額)	78,769,172
マネー・リクイディティ・マザーファンド(評価額)	502,792
(B) 負債	854,254
未払収益分配金	403,072
未払信託報酬	446,030
未払利息	1
その他未払費用	5,151
(C) 純資産総額(A－B)	80,901,153
元本	80,614,403
次期繰越損益金	286,750
(D) 受益権総口数	80,614,403口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,036円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0036円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は79,143,540円、期中追加設定元本額は2,308,535円、期中一部解約元本額は837,672円です。

○損益の状況（2019年11月19日～2020年11月17日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,833,685
受取配当金	4,834,151
受取利息	9
支払利息	△ 475
(B) 有価証券売買損益	△ 3,241,022
売買益	50,906
売買損	△ 3,291,928
(C) 信託報酬等	△ 886,687
(D) 当期損益金(A+B+C)	705,976
(E) 前期繰越損益金	△ 2,767,843
(F) 追加信託差損益金	2,751,689
(配当等相当額)	(7,460,117)
(売買損益相当額)	(△ 4,708,428)
(G) 計(D+E+F)	689,822
(H) 収益分配金	△ 403,072
次期繰越損益金(G+H)	286,750
追加信託差損益金	2,751,689
(配当等相当額)	(7,460,121)
(売買損益相当額)	(△ 4,708,432)
分配準備積立金	15,399,525
繰越損益金	△17,864,464

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第9期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,951,039円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	7,460,121円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	11,851,558円
分配対象収益(a+b+c+d)	23,262,718円
分配対象収益(1万口当たり)	2,885円
分配金額	403,072円
分配金額(1万口当たり)	50円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	50円
支払開始日	2020年11月24日(火)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

【為替ヘッジなし】

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年11月19日～2020年11月17日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	110 (43) (64) (3)	1.130 (0.439) (0.658) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 （監査費用） （その他）	1 (1) (0)	0.013 (0.013) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	111	1.143	
期中の平均基準価額は、9,733円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

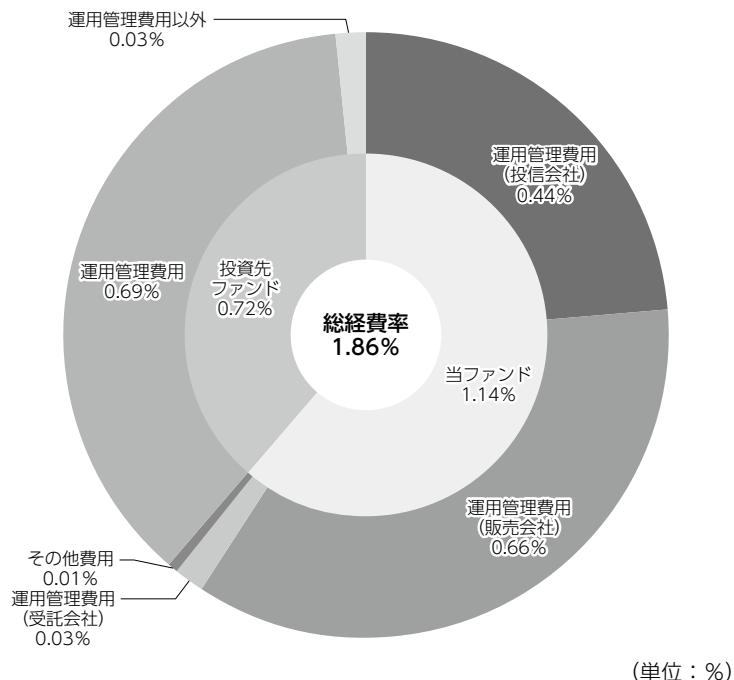
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



総経費率 (①+②+③)	1.86
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年11月19日～2020年11月17日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
国内 アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	28,623,193	千円 34,000	33,214,090	千円 40,000

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・リクイディティ・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 1,497	千円 1,500

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2019年11月19日～2020年11月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当期		期末
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)		347,739,537	343,148,640	388,581	98.2
合	計	347,739,537	343,148,640	388,581	98.2

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当期		期末
		口数	口数	評価額	評価額
		千口	千口	千円	千円
マネー・リクイディティ・マザーファンド		3,980	2,483	2,485	2,485

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年11月17日現在)

項	目	当期		期末
		評価額	比率	比率
		千円		%
投資信託受益証券		388,581		97.7
マネー・リクイディティ・マザーファンド		2,485		0.6
コール・ローン等、その他		6,862		1.7
投資信託財産総額		397,928		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年11月17日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	397,928,268
コール・ローン等	6,861,124
投資信託受益証券(評価額)	388,581,519
マネー・リクイディティ・マザーファンド(評価額)	2,485,625
(B) 負債	2,287,813
未払信託報酬	2,261,506
未払利息	5
その他未払費用	26,302
(C) 純資産総額(A－B)	395,640,455
元本	402,939,916
次期繰越損益金	△ 7,299,461
(D) 受益権総口数	402,939,916口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,819円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は7,299,461円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9819円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は434,963,949円、期中追加設定元本額は37,603,455円、期中一部解約元本額は69,627,488円です。

○損益の状況（2019年11月19日～2020年11月17日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	24,294,538
受取配当金	24,296,679
受取利息	40
支払利息	△ 2,181
(B) 有価証券売買損益	△26,762,563
売買益	1,803,269
売買損	△28,565,832
(C) 信託報酬等	△ 4,609,437
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 7,077,462
(E) 前期繰越損益金	2,870,919
(F) 追加信託差損益金	△ 3,092,918
(配当等相当額)	(14,539,019)
(売買損益相当額)	(△17,631,937)
(G) 計(D+E+F)	△ 7,299,461
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 7,299,461
追加信託差損益金	△ 3,092,918
(配当等相当額)	(14,539,051)
(売買損益相当額)	(△17,631,969)
分配準備積立金	72,157,670
繰越損益金	△76,364,213

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第9期
(a) 配当等収益(費用控除後)	19,704,666円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	14,539,051円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	52,453,004円
分配対象収益(a+b+c+d)	86,696,721円
分配対象収益(1万口当たり)	2,151円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2020年11月17日現在）

<マネー・リクイディティ・マザーファンド>

下記は、マネー・リクイディティ・マザーファンド全体（142,536千円）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当			期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	87,000 (87,000)	87,559 (87,559)	61.4 (61.4)	— (—)	— (—)	— (—)	61.4 (61.4)	
合 計	87,000 (87,000)	87,559 (87,559)	61.4 (61.4)	— (—)	— (—)	— (—)	61.4 (61.4)	

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当		期		末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
特殊債券（除く金融債）	%	千円	千円		
第122回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	3,000	3,001	2020/11/30	
第126回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	3,000	3,007	2021/1/29	
第133回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	30,000	30,181	2021/4/30	
第137回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	47,000	47,365	2021/6/30	
第19回政府保証地方公共団体金融機構債券	1.2	4,000	4,003	2020/12/14	
合 計		87,000	87,559		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第102期(決算日:2020年6月9日) 第105期(決算日:2020年9月9日)
第103期(決算日:2020年7月9日) 第106期(決算日:2020年10月9日)
第104期(決算日:2020年8月11日) 第107期(決算日:2020年11月9日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は、去る11月9日に第107期の決算を行いました。
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきまして、もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 ^{※1} の高利回り社債 ^{※2} および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1アジア諸国とは、運用要件がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクを抑えます。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注) 当報告書における比率は、表示相米未満四捨五入です。

(注) 「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorgan.com/jp/am/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
78期(2018年6月11日)	8,358	48	△ 0.5	94.9	—	1,631	
79期(2018年7月9日)	8,048	43	△ 3.2	95.5	—	1,412	
80期(2018年8月9日)	8,250	47	3.1	95.8	—	1,448	
81期(2018年9月10日)	8,172	49	△ 0.4	94.4	—	1,394	
82期(2018年10月9日)	8,198	44	0.9	97.6	—	1,359	
83期(2018年11月9日)	7,968	47	△ 2.2	95.1	—	1,277	
84期(2018年12月10日)	7,924	48	0.1	93.9	—	1,213	
85期(2019年1月9日)	7,913	43	0.4	92.9	—	1,167	
86期(2019年2月12日)	8,101	49	3.0	93.2	—	1,192	
87期(2019年3月11日)	8,172	42	1.4	97.7	—	1,156	
88期(2019年4月9日)	8,261	44	1.6	95.1	—	1,137	
89期(2019年5月9日)	8,246	44	0.4	91.0	—	1,115	
90期(2019年6月10日)	8,185	46	△ 0.2	91.7	—	1,097	
91期(2019年7月9日)	8,284	42	1.7	95.5	—	1,123	
92期(2019年8月9日)	8,139	47	△ 1.2	89.9	—	1,133	
93期(2019年9月9日)	8,065	45	△ 0.4	93.1	—	1,179	
94期(2019年10月9日)	8,077	44	0.7	94.7	—	1,182	
95期(2019年11月11日)	8,097	49	0.9	96.3	—	1,171	
96期(2019年12月9日)	8,075	29	0.1	92.7	—	1,161	
97期(2020年1月9日)	8,124	46	1.2	92.1	—	1,146	
98期(2020年2月10日)	8,092	45	0.2	93.5	—	1,136	
99期(2020年3月9日)	8,004	40	△ 0.6	86.5	—	1,123	
100期(2020年4月9日)	7,055	46	△ 11.3	95.3	—	990	
101期(2020年5月11日)	7,282	45	3.9	90.3	—	1,010	
102期(2020年6月9日)	7,596	41	4.9	93.9	—	1,070	
103期(2020年7月9日)	7,645	40	1.2	92.2	—	1,053	
104期(2020年8月11日)	7,750	44	1.9	92.9	—	1,067	
105期(2020年9月9日)	7,779	39	0.9	94.1	—	1,074	
106期(2020年10月9日)	7,733	40	△ 0.1	94.2	—	1,061	
107期(2020年11月9日)	7,738	41	0.6	92.3	—	1,057	

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第102期	(期 首) 2020年5月11日	円 7,282	% —	% —	% 90.3	% —
	5月末	7,480	2.7	—	93.6	—
	(期 末) 2020年6月9日	7,637	4.9	—	93.9	—
第103期	(期 首) 2020年6月9日	7,596	—	—	93.9	—
	6月末	7,625	0.4	—	91.6	—
	(期 末) 2020年7月9日	7,685	1.2	—	92.2	—
第104期	(期 首) 2020年7月9日	7,645	—	—	92.2	—
	7月末	7,741	1.3	—	91.4	—
	(期 末) 2020年8月11日	7,794	1.9	—	92.9	—
第105期	(期 首) 2020年8月11日	7,750	—	—	92.9	—
	8月末	7,803	0.7	—	94.6	—
	(期 末) 2020年9月9日	7,818	0.9	—	94.1	—
第106期	(期 首) 2020年9月9日	7,779	—	—	94.1	—
	9月末	7,720	△0.8	—	92.8	—
	(期 末) 2020年10月9日	7,773	△0.1	—	94.2	—
第107期	(期 首) 2020年10月9日	7,733	—	—	94.2	—
	10月末	7,742	0.1	—	94.0	—
	(期 末) 2020年11月9日	7,779	0.6	—	92.3	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

投資環境

◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期首から9月上旬にかけては、11月の米大統領選挙を巡る動きや地政学リスクの高まりなどは懸念されたものの、一部の経済指標に改善傾向が見られたことや経済活動の再開に向けた動きに加え、ワクチン開発の進展期待などが支援材料となり、概ね上昇基調で推移しました。
- ◆9月中旬以降は、米中摩擦の激化への懸念や欧米などで新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことなどを背景に軟調に推移しました。また、米国で追加経済対策の協議が難航したことや、欧州などの一部の地域でロックダウン(都市封鎖)が実施されたことなども市場の重石となりました。
- ◆当作成期中は、景気下支えのため、インドネシアやマレーシア、フィリピンなどで利下げが発表されました。

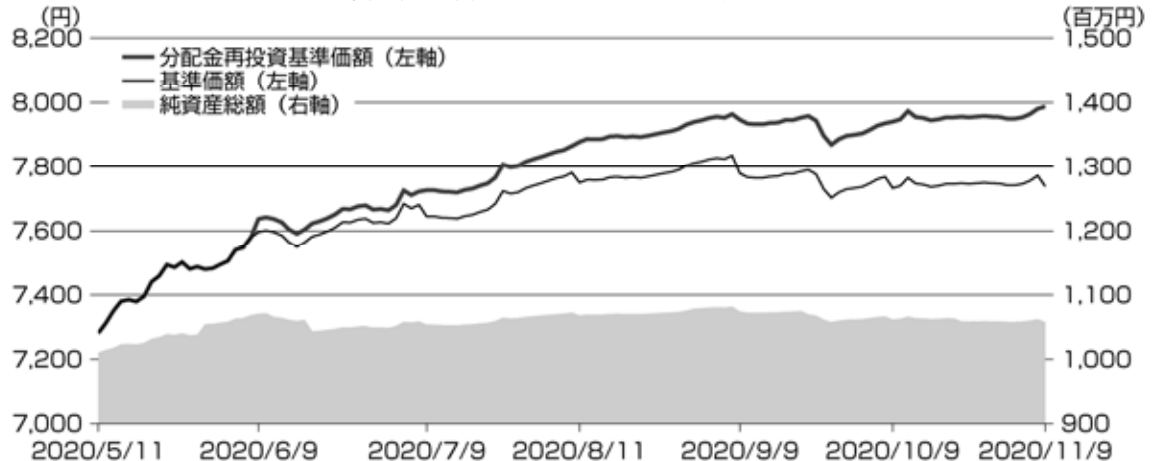
* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+9.7%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+6.7%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で245円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆金融緩和や世界景気の回復に加え、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などにより、ハイ・イールド債などのリスク資産は下支えされ、引き続き世界経済は潜在成長率を上回る成長が継続すると予想しています。
- ◆一部の地域で新型コロナウイルスの感染再拡大を受けてロックダウンなどの措置を実施しているほか、今後、米大統領選挙の結果が市場に与える影響や、EU(欧州連合)と英国とのFTA(自由貿易協定)をはじめとした将来関係を巡る交渉など、景気回復を阻害する可能性のある動きには留意が必要と考えます。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2020年5月12日～2020年11月9日)

項 目	第102期～第107期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 27	% 0.351	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(25)	(0.329)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.017	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
(保 管 費 用)	(0)	(0.006)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	28	0.368	
当作成期中の平均基準価額は、7,685円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第102期～第107期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 35,182	千円 81,152	千口 47,204	千円 109,950

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年11月9日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第101期末		第107期末	
		口	数	口	数
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			千口	千口	千円
			454,041	442,019	1,038,481

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2020年11月9日現在)

項	目	第107期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		1,038,481	97.5
コール・ローン等、その他		26,808	2.5
投資信託財産総額		1,065,289	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(13,091,027千円)の投資信託財産総額(13,165,527千円)に対する比率は99.4%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=103.35円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2020年6月9日現在	2020年7月9日現在	2020年8月11日現在	2020年9月9日現在	2020年10月9日現在	2020年11月9日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,183,644,287	2,093,693,269	4,263,781,097	2,161,235,212	2,124,605,970	4,188,243,783
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	1,093,135,952	1,039,624,923	1,061,501,875	1,082,809,067	1,066,210,799	1,038,481,073
未収入金	1,090,508,335	1,054,068,346	3,202,279,222	1,078,426,145	1,058,395,171	3,149,762,710
(B) 負債	1,112,984,335	1,040,103,212	3,195,804,044	1,087,178,783	1,062,913,846	3,130,797,535
未払金	1,106,604,869	1,033,961,687	3,189,043,935	1,081,175,078	1,056,784,533	3,124,540,942
未払収益分配金	5,779,147	5,512,348	6,063,583	5,384,536	5,491,772	5,602,601
未払信託報酬	582,139	610,121	675,427	600,414	618,231	634,184
その他未払費用	18,180	19,056	21,099	18,755	19,310	19,808
(C) 純資産総額(A-B)	1,070,659,952	1,053,590,057	1,067,977,053	1,074,056,429	1,061,692,124	1,057,446,248
元本	1,409,548,104	1,378,087,177	1,378,087,177	1,380,650,294	1,372,943,165	1,366,488,221
次期繰越損益金	△ 338,888,152	△ 324,497,120	△ 310,110,124	△ 306,593,865	△ 311,251,041	△ 309,041,973
(D) 受益権総口数	1,409,548,104口	1,378,087,177口	1,378,087,177口	1,380,650,294口	1,372,943,165口	1,366,488,221口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,596円	7,645円	7,750円	7,779円	7,733円	7,738円

<注記事項>

期首元本額	1,387,539,525円	1,409,548,104円	1,378,087,177円	1,378,087,177円	1,380,650,294円	1,372,943,165円
期中追加設定元本額	24,743,809円	1,561,687円	0円	2,563,117円	0円	0円
期中一部解約元本額	2,735,230円	33,022,614円	0円	0円	7,707,129円	6,454,944円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	27,289円	28,601円	31,660円	28,147円	28,981円	29,727円
未払委託者報酬	554,850円	581,520円	643,767円	572,267円	589,250円	604,457円

○損益の状況

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2020年5月12日～ 2020年6月9日	2020年6月10日～ 2020年7月9日	2020年7月10日～ 2020年8月11日	2020年8月12日～ 2020年9月9日	2020年9月10日～ 2020年10月9日	2020年10月10日～ 2020年11月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	50,094,099	12,955,059	21,153,045	10,083,081	△ 239,284	7,002,218
売買益	80,232,620	26,566,037	25,558,846	34,023,606	2,460,163	27,564,979
売買損	△ 30,138,521	△ 13,610,978	△ 4,405,801	△ 23,940,525	△ 2,699,447	△ 20,562,761
(B) 信託報酬等	△ 600,319	△ 629,177	△ 702,466	△ 619,169	△ 637,541	△ 653,992
(C) 当期損益金(A+B)	49,493,780	12,325,882	20,450,579	9,463,912	△ 876,825	6,348,226
(D) 前期繰越損益金	△295,693,116	△245,871,619	△238,695,648	△224,063,353	△218,401,797	△222,979,763
(E) 追加信託差損益金	△ 86,909,669	△ 85,439,035	△ 85,801,472	△ 86,609,888	△ 86,480,647	△ 86,807,835
(配当等相当額)	(41,852,016)	(40,774,193)	(40,413,597)	(40,243,007)	(39,667,211)	(38,746,900)
(売買損益相当額)	(△128,761,685)	(△126,213,228)	(△126,215,069)	(△126,852,895)	(△126,147,858)	(△125,554,735)
(F) 計(C+D+E)	△333,109,005	△318,984,772	△304,046,541	△301,209,329	△305,759,269	△303,439,372
(G) 収益分配金	△ 5,779,147	△ 5,512,348	△ 6,063,583	△ 5,384,536	△ 5,491,772	△ 5,602,601
次期繰越損益金(F+G)	△338,888,152	△324,497,120	△310,110,124	△306,593,865	△311,251,041	△309,041,973
追加信託差損益金	△ 87,118,282	△ 85,801,472	△ 86,046,771	△ 86,966,096	△ 87,217,917	△ 87,444,618
(配当等相当額)	(41,705,015)	(40,413,597)	(40,168,298)	(39,889,874)	(38,929,941)	(38,110,117)
(売買損益相当額)	(△128,823,297)	(△126,215,069)	(△126,215,069)	(△126,855,978)	(△126,147,858)	(△125,554,735)
分配準備積立金	1,602	2,284	1,750	2,561	1,739	2,241
繰越損益金	△251,771,472	△238,697,932	△224,065,103	△219,630,330	△224,034,863	△221,599,596

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額をいいます。

(注) 第102期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,570,547円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(41,913,628円)および分配準備積立金(1,589円)より分配対象収益は47,485,764円(10,000口当たり336円)であり、うち5,779,147円(10,000口当たり41円)を分配金額としております。

(注) 第103期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,150,630円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,776,034円)および分配準備積立金(1,565円)より分配対象収益は45,928,229円(10,000口当たり333円)であり、うち5,512,348円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注) 第104期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,817,750円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,413,597円)および分配準備積立金(2,284円)より分配対象収益は46,233,631円(10,000口当たり335円)であり、うち6,063,583円(10,000口当たり44円)を分配金額としております。

(注) 第105期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,029,139円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,246,086円)および分配準備積立金(1,750円)より分配対象収益は45,276,975円(10,000口当たり327円)であり、うち5,384,536円(10,000口当たり39円)を分配金額としております。

(注) 第106期計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,753,695円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(39,667,211円)および分配準備積立金(2,546円)より分配対象収益は44,423,452円(10,000口当たり323円)であり、うち5,491,772円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注) 第107期計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,966,328円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(38,746,900円)および分配準備積立金(1,731円)より分配対象収益は43,714,959円(10,000口当たり319円)であり、うち5,602,601円(10,000口当たり41円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
受託者報酬	27,289円	28,601円	31,660円	28,147円	28,981円	29,727円
委託者報酬	554,850円	581,520円	643,767円	572,267円	589,250円	604,457円

○分配金のお知らせ

	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
1万円当たり分配金(税込み)	41円	40円	44円	39円	40円	41円

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第102期(決算日:2020年6月9日) 第105期(決算日:2020年9月9日)
第103期(決算日:2020年7月9日) 第106期(決算日:2020年10月9日)
第104期(決算日:2020年8月11日) 第107期(決算日:2020年11月9日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、去る11月9日に第107期の決算を行いました。
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 ^{※1} の高利回り社債 ^{※2} および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1 アジア諸国とは、運用要件がそれぞれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2 高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。為替ヘッジは行いません。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorgan.com/jp/am/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円	円	円	%	%	%	%	百万円	
78期(2018年6月11日)	12,095		70	△0.2	95.5	—	—	29,011	
79期(2018年7月9日)	11,788		63	△2.0	94.9	—	—	26,414	
80期(2018年8月9日)	12,156		69	3.7	95.6	—	—	25,816	
81期(2018年9月10日)	12,068		72	△0.1	94.9	—	—	23,887	
82期(2018年10月9日)	12,357		65	2.9	96.1	—	—	22,596	
83期(2018年11月9日)	12,144		72	△1.1	94.8	—	—	20,448	
84期(2018年12月10日)	11,947		72	△1.0	94.2	—	—	18,971	
85期(2019年1月9日)	11,562		65	△2.7	96.1	—	—	16,997	
86期(2019年2月12日)	12,069		73	5.0	92.6	—	—	17,163	
87期(2019年3月11日)	12,244		62	2.0	96.5	—	—	15,786	
88期(2019年4月9日)	12,462		66	2.3	95.4	—	—	15,251	
89期(2019年5月9日)	12,311		67	△0.7	92.0	—	—	14,446	
90期(2019年6月10日)	12,082		69	△1.3	93.2	—	—	13,963	
91期(2019年7月9日)	12,302		62	2.3	94.9	—	—	14,017	
92期(2019年8月9日)	11,795		69	△3.6	91.4	—	—	13,332	
93期(2019年9月9日)	11,814		64	0.7	92.3	—	—	13,344	
94期(2019年10月9日)	11,877		64	1.1	94.4	—	—	12,994	
95期(2019年11月11日)	12,160		72	3.0	94.1	—	—	13,083	
96期(2019年12月9日)	12,088		43	△0.2	92.9	—	—	13,040	
97期(2020年1月9日)	12,263		68	2.0	91.3	—	—	13,384	
98期(2020年2月10日)	12,283		67	0.7	92.3	—	—	13,544	
99期(2020年3月9日)	11,320		60	△7.4	93.0	—	—	12,477	
100期(2020年4月9日)	10,705		66	△4.8	91.7	—	—	11,796	
101期(2020年5月11日)	10,844		68	1.9	91.8	—	—	11,899	
102期(2020年6月9日)	11,431		60	6.0	92.5	—	—	12,457	
103期(2020年7月9日)	11,432		60	0.5	94.0	—	—	12,457	
104期(2020年8月11日)	11,474		66	0.9	94.1	—	—	12,503	
105期(2020年9月9日)	11,502		58	0.7	93.8	—	—	12,533	
106期(2020年10月9日)	11,438		59	△0.0	94.3	—	—	12,343	
107期(2020年11月9日)	11,166		60	△1.9	94.5	—	—	11,981	

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第102期	(期 首) 2020年5月11日	円 10,844	% —	% —	% 91.8	% —
	5月末	11,201	3.3	—	92.7	—
	(期 末) 2020年6月9日	11,491	6.0	—	92.5	—
第103期	(期 首) 2020年6月9日	11,431	—	—	92.5	—
	6月末	11,447	0.1	—	93.0	—
	(期 末) 2020年7月9日	11,492	0.5	—	94.0	—
第104期	(期 首) 2020年7月9日	11,432	—	—	94.0	—
	7月末	11,291	△1.2	—	93.9	—
	(期 末) 2020年8月11日	11,540	0.9	—	94.1	—
第105期	(期 首) 2020年8月11日	11,474	—	—	94.1	—
	8月末	11,468	△0.1	—	94.9	—
	(期 末) 2020年9月9日	11,560	0.7	—	93.8	—
第106期	(期 首) 2020年9月9日	11,502	—	—	93.8	—
	9月末	11,398	△0.9	—	93.1	—
	(期 末) 2020年10月9日	11,497	△0.0	—	94.3	—
第107期	(期 首) 2020年10月9日	11,438	—	—	94.3	—
	10月末	11,306	△1.2	—	95.1	—
	(期 末) 2020年11月9日	11,226	△1.9	—	94.5	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

投資環境

◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期首から9月上旬にかけては、11月の米大統領選挙を巡る動きや地政学リスクの高まりなどは懸念されたものの、一部の経済指標に改善傾向が見られたことや経済活動の再開に向けた動きに加え、ワクチン開発の進展期待などが支援材料となり、概ね上昇基調で推移しました。
- ◆9月中旬以降は、米中摩擦の激化への懸念や欧米などで新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことなどを背景に軟調に推移しました。また、米国で追加経済対策の協議が難航したことや、欧州などの一部の地域でロックダウン(都市封鎖)が実施されたことなども市場の重石となりました。
- ◆当作成期中は、景気下支えのため、インドネシアやマレーシア、フィリピンなどで利下げが発表されました。

* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で下落しました。

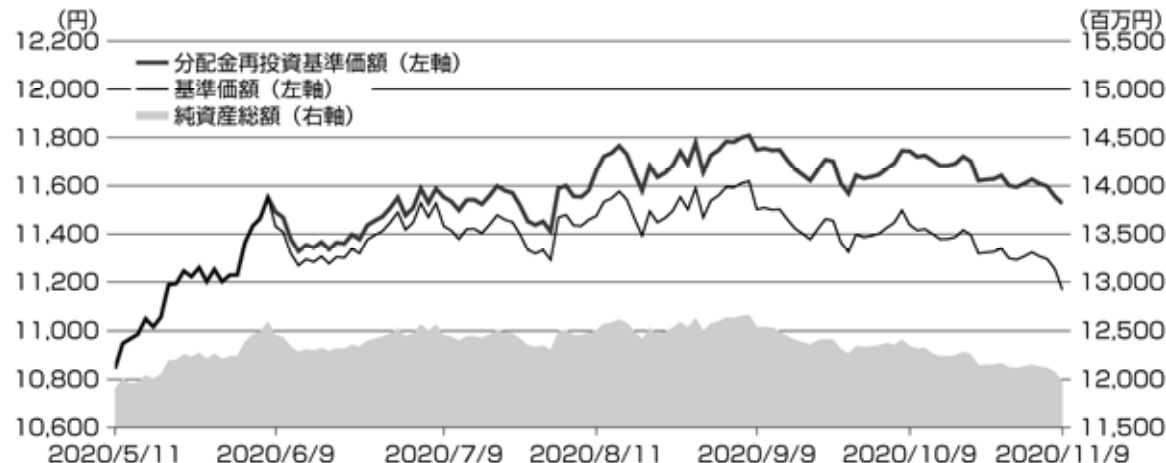
- ◆米国における新型コロナウイルス感染者数の増加が懸念材料となったほか、米中間の緊張が高まったことなどから、米ドルは対円で下落しました。

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+6.3%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+6.7%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、米ドルが対円で下落したことはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で363円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆金融緩和や世界景気の回復に加え、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などにより、ハイ・イールド債などのリスク資産は下支えされ、引き続き世界経済は潜在成長率を上回る成長が継続すると予想しています。
- ◆一部の地域で新型コロナウイルスの感染再拡大を受けてロックダウンなどの措置を実施しているほか、今後、米大統領選挙の結果が市場に与える影響や、EU(欧州連合)と英国とのFTA(自由貿易協定)をはじめとした将来関係を巡る交渉など、景気回復を阻害する可能性のある動きには留意が必要と考えます。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2020年5月12日～2020年11月9日)

項 目	第102期～第107期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 40	% 0.351	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(37)	(0.329)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	42	0.368	
当作成期中の平均基準価額は、11,351円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第102期～第107期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口	千円	千口	千円
	—	—	309,621	723,016

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年11月9日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第101期末		第107期末		
		口	数	口	数	評 価 額
		千口		千口		千円
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		5,440,038		5,130,417		12,053,401

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2020年11月9日現在)

項	目	第107期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		12,053,401	100.0
投資信託財産総額		12,053,401	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(13,091,027千円)の投資信託財産総額(13,165,527千円)に対する比率は99.4%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=103.35円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2020年6月9日現在	2020年7月9日現在	2020年8月11日現在	2020年9月9日現在	2020年10月9日現在	2020年11月9日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	12,532,430,311	12,530,672,510	12,583,576,824	12,603,659,472	12,414,727,392	12,053,401,955
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	12,530,430,311	12,530,672,510	12,583,576,824	12,603,659,472	12,414,727,392	12,053,401,955
未収入金	2,000,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	74,437,798	72,777,664	80,084,733	70,446,285	71,072,538	71,903,845
未払収益分配金	65,392,292	65,381,808	71,919,989	63,197,386	63,673,752	64,384,874
未払解約金	2,000,000	—	—	—	—	—
未払信託報酬	6,832,017	7,171,749	7,917,337	7,029,245	7,174,589	7,291,132
その他未払費用	213,489	224,107	247,407	219,654	224,197	227,839
(C) 純資産総額(A-B)	12,457,992,513	12,457,894,846	12,503,492,091	12,533,213,187	12,343,654,854	11,981,498,110
元本	10,898,715,344	10,896,968,161	10,896,968,161	10,896,101,084	10,792,161,445	10,730,812,460
次期繰越損益金	1,559,277,169	1,560,926,685	1,606,523,930	1,637,112,103	1,551,493,409	1,250,685,650
(D) 受益権総口数	10,898,715,344口	10,896,968,161口	10,896,968,161口	10,896,101,084口	10,792,161,445口	10,730,812,460口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,431円	11,432円	11,474円	11,502円	11,438円	11,166円
<注記事項>						
期首元本額	10,973,519,503円	10,898,715,344円	10,896,968,161円	10,896,968,161円	10,896,101,084円	10,792,161,445円
期中追加設定元本額	0円	0円	0円	0円	0円	0円
期中一部解約元本額	74,804,159円	1,747,183円	0円	867,077円	103,939,639円	61,348,985円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	320,250円	336,175円	371,127円	329,496円	336,309円	341,771円
未払委託者報酬	6,511,767円	6,835,574円	7,546,210円	6,699,749円	6,838,280円	6,949,361円

○損益の状況

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2020年5月12日～ 2020年6月9日	2020年6月10日～ 2020年7月9日	2020年7月10日～ 2020年8月11日	2020年8月12日～ 2020年9月9日	2020年9月10日～ 2020年10月9日	2020年10月10日～ 2020年11月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	712,059,636	74,677,148	125,681,978	101,162,289	1,070,891	△ 220,084,328
売買益	712,943,618	74,679,997	125,681,979	101,167,380	1,560,891	157,889
売買損	△ 883,982	△ 2,849	△ 1	△ 5,091	△ 490,000	△ 220,242,217
(B) 信託報酬等	△ 7,045,506	△ 7,395,856	△ 8,164,744	△ 7,248,899	△ 7,398,786	△ 7,518,971
(C) 当期損益金(A+B)	705,014,130	67,281,292	117,517,234	93,913,390	△ 6,327,895	△ 227,603,299
(D) 前期繰越損益金	△2,832,263,335	△2,192,289,995	△2,190,390,511	△2,144,622,605	△2,093,741,231	△2,151,442,912
(E) 追加信託差損益金	3,751,918,666	3,751,317,196	3,751,317,196	3,751,018,704	3,715,236,287	3,694,116,735
(配当等相当額)	(5,188,684,982)	(5,187,853,184)	(5,187,853,184)	(5,187,440,387)	(5,137,955,390)	(5,108,748,280)
(売買損益相当額)	(△1,436,766,316)	(△1,436,535,988)	(△1,436,535,988)	(△1,436,421,683)	(△1,422,719,103)	(△1,414,631,545)
(F) 計(C+D+E)	1,624,669,461	1,626,308,493	1,678,443,919	1,700,309,489	1,615,167,161	1,315,070,524
(G) 収益分配金	△ 65,392,292	△ 65,381,808	△ 71,919,989	△ 63,197,386	△ 63,673,752	△ 64,384,874
次期繰越損益金(F+G)	1,559,277,169	1,560,926,685	1,606,523,930	1,637,112,103	1,551,493,409	1,250,685,650
追加信託差損益金	3,751,918,666	3,751,317,196	3,751,317,196	3,751,018,704	3,715,236,287	3,694,116,735
(配当等相当額)	(5,188,684,982)	(5,187,853,184)	(5,187,853,184)	(5,187,440,387)	(5,137,955,390)	(5,108,748,280)
(売買損益相当額)	(△1,436,766,316)	(△1,436,535,988)	(△1,436,535,988)	(△1,436,421,683)	(△1,422,719,103)	(△1,414,631,545)
分配準備積立金	159,084,039	152,513,797	147,295,162	142,059,497	132,451,935	123,376,351
繰越損益金	△2,351,725,536	△2,342,904,308	△2,292,088,428	△2,255,966,098	△2,296,194,813	△2,566,807,436

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第102期計算期間末における費用控除後の配当等収益(83,989,892円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,188,684,982円)および分配準備積立金(160,486,439円)より分配対象収益は5,413,161,313円(10,000口当たり4,966円)であり、うち65,392,292円(10,000口当たり66円)を分配金額としております。

(注) 第103期計算期間末における費用控除後の配当等収益(58,837,069円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,187,853,184円)および分配準備積立金(159,058,536円)より分配対象収益は5,405,748,789円(10,000口当たり4,960円)であり、うち65,381,808円(10,000口当たり66円)を分配金額としております。

(注) 第104期計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,701,354円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,187,853,184円)および分配準備積立金(152,513,797円)より分配対象収益は5,407,068,335円(10,000口当たり4,961円)であり、うち71,919,989円(10,000口当たり71円)を分配金額としております。

(注) 第105期計算期間末における費用控除後の配当等収益(57,973,441円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,187,440,387円)および分配準備積立金(147,283,442円)より分配対象収益は5,392,697,270円(10,000口当たり4,949円)であり、うち63,197,386円(10,000口当たり63円)を分配金額としております。

(注) 第106期計算期間末における費用控除後の配当等収益(55,421,351円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,137,955,390円)および分配準備積立金(140,704,336円)より分配対象収益は5,334,081,077円(10,000口当たり4,942円)であり、うち63,673,752円(10,000口当たり64円)を分配金額としております。

(注) 第107期計算期間末における費用控除後の配当等収益(56,062,223円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,108,748,280円)および分配準備積立金(131,699,002円)より分配対象収益は5,296,509,505円(10,000口当たり4,935円)であり、うち64,384,874円(10,000口当たり65円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
受託者報酬	320,250円	336,175円	371,127円	329,496円	336,309円	341,771円
委託者報酬	6,511,767円	6,835,574円	7,546,210円	6,699,749円	6,838,280円	6,949,361円

○分配金のお知らせ

	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
1万円当たり分配金(税込み)	60円	60円	66円	58円	59円	60円

GIMアジア・ハイ・イールド 債券マザーファンド (適格機関投資家専用)

第 18 期 運用報告書

(決算日: 2020年11月9日)

(計算期間: 2020年5月12日～2020年11月9日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
運 用 方 針	安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
14期(2018年11月9日)	22,104		3.4	94.2	—	21,872
15期(2019年5月9日)	23,250		5.2	91.5	—	15,645
16期(2019年11月11日)	23,828		2.5	93.5	—	14,377
17期(2020年5月11日)	22,025		△7.6	91.2	—	12,981
18期(2020年11月9日)	23,494		6.7	94.0	—	13,092

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	—
2020年5月11日	22,025		—	91.2	—	—
5月末	22,759		3.3	92.6	—	—
6月末	23,394		6.2	93.0	—	—
7月末	23,211		5.4	93.9	—	—
8月末	23,726		7.7	94.9	—	—
9月末	23,714		7.7	93.1	—	—
10月末	23,657		7.4	95.1	—	—
(期 末)						
2020年11月9日	23,494		6.7	94.0	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

投資環境

◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆期首から9月上旬にかけては、11月の米大統領選挙を巡る動きや地政学リスクの高まりなどは懸念されたものの、一部の経済指標に改善傾向が見られたことや経済活動の再開に向けた動きに加え、ワクチン開発の進展期待などが支援材料となり、概ね上昇基調で推移しました。
- ◆9月中旬以降は、米中摩擦の激化への懸念や欧米などで新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことなどを背景に軟調に推移しました。また、米国で追加経済対策の協議が難航したことや、欧州などの一部の地域でロックダウン（都市封鎖）が実施されたことなども市場の重石となりました。
- ◆当期中は、景気下支えのため、インドネシアやマレーシア、フィリピンなどで利下げが発表されました。

* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate (米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

◎為替市況

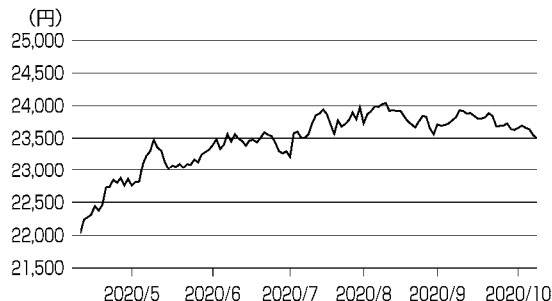
為替市場では、米ドルが対円で下落しました。

- ◆米国における新型コロナウイルス感染者数の増加が懸念材料となったほか、米中間の緊張が高まったことなどから、米ドルは対円で下落しました。

運用経過の説明

◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+6.7%となりました。



◎基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で下落したことはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆金融緩和や世界景気の回復に加え、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などにより、ハイ・イールド債などのリスク資産は下支えされ、引き続き世界経済は潜在成長率を上回る成長が継続すると予想しています。
- ◆一部の地域で新型コロナウイルスの感染再拡大を受けてロックダウンなどの措置を実施しているほか、今後、米大統領選挙の結果が市場に与える影響や、EU(欧州連合)と英国とのFTA(自由貿易協定)をはじめとした将来関係を巡る交渉など、景気回復を阻害する可能性のある動きには留意が必要と考えます。

◎今後の運用方針

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2020年5月12日～2020年11月9日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	1	0.006
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.006)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	1	0.006
期中の平均基準価額は、23,410円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

公社債

		買付額		売付額	
		千米ドル		千米ドル	
外国	アメリカ	国債証券	—	737	
		特殊債券	3,011	1,714	
		社債券	22,441	17,821	(5,206)

(注)金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注)社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注)下段に()がある場合は一部償還金または利金の額面への追加・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注)外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年11月9日現在)

下記は、アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド全体(5,572,436千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	120,622	119,049	12,303,803	94.0	91.2	26.2	33.3	34.5
合計	120,622	119,049	12,303,803	94.0	91.2	26.2	33.3	34.5

(注)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の中値により邦貨換算したものです。

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注)額面・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注)債券の格付については、原則としてS&PまたはMoody'sが提供する格付を使用し、仕組み債等、格付の提供がなされていないものについては、委託会社による判断を基にしております。

なお、上記の格付機関が異なる格付を提供している場合は、低い方を採用しております。

(注)区分の内訳は、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	SRILANKA7.85% MAR29 REGS	7.85	500	296	30,591	2029/3/14
	特殊債券 (除く金融債)	BANK OF CHINA VAR	3.6	800	799	82,576	2049/2/28
		CCB LIFE INSURANCE VAR	4.5	500	497	51,382	2077/4/21
		CHALIECO VAR	5.0	700	709	73,295	2049/12/29
		CHINA CITIC BK VAR EMTN	7.1	200	216	22,352	2049/6/29
		KUNMING TRAFFIC6.2% EMTN	6.2	1,300	1,321	136,587	2022/6/27
		PERUSAHAAN 4% REGS	4.0	600	616	63,758	2050/6/30
		SAKA ENERGI 4.45% REGS	4.45	600	555	57,461	2024/5/5
	普通社債券	ABJA INVESTMENT 5.45%	5.45	1,800	1,755	181,405	2028/1/24
		AEV INTL PTE 4.2%	4.2	400	400	41,415	2030/1/16
		AGILE GRP HLDGS VAR	6.875	1,600	1,605	165,965	2049/9/29
		AZURE POWER 5.5% REGS	5.5	1,700	1,740	179,874	2022/11/3
		AZURE POWER 5.65% REGS	5.65	800	845	87,334	2024/12/24
		BANK TABUNGAN 4.2%	4.2	2,100	2,103	217,416	2025/1/23
		BK EAST ASIA VAR EMTN	5.5	800	798	82,515	2049/12/31
		BK EAST ASIA VAR EMTN 4	5.825	1,000	1,026	106,116	2049/4/29
		CHAMPION VAR	8.125	400	417	43,127	2049/8/29
		CHINA AOYUAN 5.375%	5.375	1,000	1,001	103,505	2022/9/13
		CHINA AOYUAN 7.95%	7.95	600	611	63,235	2021/9/7
		CHINA EVERGRANDE 6.25%	6.25	200	191	19,742	2021/6/28
		CHINA EVERGRANDE 8.9%	8.9	600	579	59,841	2021/5/24
		CHINA OIL&GAS 4.625%	4.625	1,600	1,608	166,201	2022/4/20
		CHINA OIL&GAS 5.5%	5.5	600	614	63,556	2023/1/25
		CHINA SCE PPT 7.45%	7.45	2,500	2,525	260,961	2021/4/17
		CHONG HING BANK VAR EMTN	5.7	300	299	30,949	2049/7/29
		CIFI HLDGS VAR	5.375	1,900	1,895	195,878	2049/12/29
		CK HUTCHISON 3.375% REGS	3.375	500	542	56,098	2050/5/8
		COUNTRY GARDEN 5.125%	5.125	200	214	22,199	2027/1/14
		COUNTRY GARDEN 6.15%	6.15	2,300	2,546	263,227	2025/9/17
		EASY TACTIC 8.125%	8.125	900	797	82,471	2023/2/27
		EASY TACTIC 8.125% 24	8.125	500	424	43,877	2024/7/11
		ENN CLEAN ENERGY 7.5%	7.5	300	302	31,236	2021/2/27
		EXPAND LEAD 6.4%	6.4	1,800	1,845	190,723	2021/9/18
FORTUNE STAR 5.95%		5.95	1,700	1,729	178,752	2023/1/29	
FORTUNE STAR 6.75%	6.75	800	830	85,811	2023/7/2		
FWD GRP VAR EMTN	—	2,800	2,115	218,687	2049/12/29		
FWD VAR 49	5.5	2,800	2,659	274,818	2049/2/28		
GEMDALE 4.95%	4.95	1,400	1,417	146,534	2022/7/26		
GEMSTONES INTL 12%	12.0	2,800	2,758	285,076	2023/3/10		
GOHL CAPITAL 4.25%	4.25	700	697	72,084	2027/1/24		
GOLDEN EAGLE 4.625% REGS	4.625	2,500	2,484	256,801	2023/5/21		
GOLDEN LEGACY6.875% REGS	6.875	1,200	1,189	122,883	2024/3/27		
GREENKO 6.25% REGS	6.25	1,800	1,861	192,392	2023/2/21		

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
%	千米ドル	千米ドル	千円			
アメリカ	普通社債券					
	GREENKO SOLAR 5.55% REGS	5.55	500	513	53,112	2025/1/29
	GREENLAND GLB 6.25% EMTN	6.25	500	495	51,228	2022/12/16
	GREENLAND GLB 6.75% EMTN	6.75	700	696	72,026	2022/6/25
	GREENLAND HK 6%	6.0	1,200	1,200	124,082	2021/7/17
	HEJUN SHUNZE 11%	11.0	2,700	2,755	284,745	2022/6/4
	HK RED STAR 3.375%	3.375	1,400	1,281	132,397	2022/9/21
	HOPSON DEVELOPMENT 7.5%	7.5	2,700	2,726	281,788	2022/6/27
	HPCL MITTAL ENERGY 5.25%	5.25	600	609	63,034	2027/4/28
	ICBC VAR	3.58	600	599	61,944	2049/9/29
	INDIA GREEN 5.375% REGS	5.375	450	456	47,182	2024/4/29
	INDIKA ENERGY 8.25% REGS	8.25	1,000	1,006	104,064	2025/10/22
	INDIKA ENERGY6.375% REGS	6.375	114	115	11,906	2023/1/24
	INDIKA ENERGY6.875% REGS	6.875	2,100	2,172	224,479	2020/11/23
	JSW STEEL 5.375%	5.375	900	902	93,284	2025/4/4
	JUBILANT PHARMA 6%	6.0	200	207	21,493	2024/3/5
	KASIKORNBANK VAR EMTN	3.343	900	889	91,930	2031/10/2
	KDB LIFE INSURANCE VAR	7.5	1,300	1,264	130,657	2049/5/29
	KWG PROPERTY 7.875%	7.875	500	511	52,855	2021/8/9
	KWG PROPERTY 7.875% 23	7.875	700	734	75,952	2023/9/1
	LISTRINDO 4.95% REGS	4.95	700	718	74,271	2026/9/14
	LMIRT CAPITAL 7.25%	7.25	1,000	942	97,386	2024/6/19
	MEDCO BELL 6.375% REGS	6.375	200	185	19,172	2027/1/30
	MEDCO PLATINUM6.75% REGS	6.75	2,500	2,498	258,238	2025/1/30
	MEGAWORLD 4.125%	4.125	1,100	1,123	116,117	2027/7/30
	MELCO RESORTS5.625% REGS	5.625	300	308	31,889	2027/7/17
	NEERG ENERGY 6% REGS	6.0	1,000	1,013	104,709	2022/2/13
	NEW METRO GLOBAL 6.5%	6.5	1,300	1,326	137,128	2022/5/20
	NEW METRO GLOBAL 7.125%	7.125	500	505	52,227	2021/5/23
	NEW METRO GLOBAL 7.5%	7.5	800	820	84,784	2021/12/16
	NWD MTN 4.125%	4.125	900	914	94,543	2029/7/18
	PETRON VAR	4.6	1,800	1,675	173,197	2049/1/29
	POSTAL SAVINGS VAR	4.5	400	407	42,132	2049/9/29
	POWERLONG 4.875%	4.875	1,100	1,098	113,576	2021/9/15
	POWERLONG 7.125%	7.125	500	518	53,634	2022/11/8
	PT ADARO 4.25% REGS	4.25	500	497	51,412	2024/10/31
	RED SUN 10.5%	10.5	200	208	21,498	2022/10/3
	RED SUN 11.5%	11.5	1,100	1,119	115,666	2021/3/4
	RED SUN 13.5%	13.5	200	201	20,782	2020/12/3
	RED SUN 9.7%	9.7	400	411	42,527	2023/4/16
	RED SUN 9.95%	9.95	700	723	74,748	2022/4/11
	RENEW POWER 6.67% REGS	6.67	1,200	1,258	130,025	2024/3/12
	RIZAL COMMERCIAL BK VAR	6.5	1,300	1,296	133,974	2049/2/28
	RKPF OVERSEAS 6.7%	6.7	2,100	2,174	224,737	2024/9/30
	RKPF OVERSEAS 7.875%	7.875	200	209	21,701	2023/2/1
	RONGXINGDA 8%	8.0	2,100	2,058	212,700	2022/4/24

銘柄	当	期 末			償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
普通社債券	RONGXINGDA 8.75%	8.75	300	299	30,998	2021/1/28
	RONSHINE 7.35%	7.35	500	502	51,951	2023/12/15
	RONSHINE 8.75%	8.75	500	514	53,176	2022/10/25
	RONSHINE 8.95%	8.95	1,500	1,551	160,334	2023/1/22
	RONSHINE CHINA 10.5%	10.5	200	209	21,673	2022/3/1
	ROYAL CAPITAL 5.875%	5.875	700	706	73,046	2049/1/29
	ROYAL CAPITAL VAR	4.875	500	501	51,868	2049/10/29
	SCENERY JOURNEY 11.5%	11.5	1,400	1,194	123,446	2022/10/24
	SD IRON & STEEL 6.5%	6.5	1,300	1,312	135,697	2021/6/14
	SHUI ON DEV 5.5%	5.5	1,200	1,163	120,227	2025/3/3
	SHUI ON DEV 6.25%	6.25	358	363	37,593	2021/11/28
	SHUI ON DEV VAR	6.4	1,200	1,183	122,272	2049/6/29
	SINO OCEAN LD VAR	4.9	400	335	34,685	2049/9/29
	SMC GLOBAL POWER VAR 1	5.95	500	480	49,703	2049/5/29
	SMC GLOBAL POWER VAR 4	7.0	700	706	73,047	2049/4/29
	SOECHI CAPIAL8.375% REGS	8.375	2,800	1,680	173,691	2023/1/31
	SRI REJEKI 7.25% REGS	7.25	700	697	72,086	2025/1/16
	STUDIO CITY FIN 6% REGS	6.0	1,900	1,971	203,764	2025/7/15
	SUNAC CHINA 6.5%	6.5	700	697	72,078	2023/7/9
	SUNAC CHINA 7.25%	7.25	200	203	20,999	2022/6/14
	SUNAC CHINA 7.875%	7.875	700	715	73,997	2022/2/15
	SUNAC CHINA 8.35%	8.35	700	728	75,282	2023/4/19
	TATA STEEL/ABJA 5.95%	5.95	300	313	32,351	2024/7/31
	THAI OIL TRSRY 4.875% REG	4.875	200	224	23,247	2043/1/23
	TIMES CHINA 7.625%	7.625	300	305	31,622	2022/2/21
	TIMES PROPERTY 5.75%	5.75	2,000	2,012	208,016	2022/4/26
	WOORI BANK VAR REGS	4.25	200	205	21,245	2049/4/29
	YANGO JUSTICE 10.25%	10.25	1,500	1,570	162,281	2022/3/18
	YANGO JUSTICE 9.5%	9.5	900	911	94,168	2021/4/3
	YANLORD LAND 6.8%	6.8	400	419	43,321	2024/2/27
	YUZHONG PRPTY 6% 23	6.0	1,300	1,299	134,262	2023/10/25
	YUZHONG PRPTY 7.375%	7.375	300	297	30,743	2026/1/13
	YUZHONG PRPTY VAR	5.375	1,000	960	99,240	2049/9/29
合 計		—	—	—	12,303,803	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。なお、表示単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) 株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

(注) 銘柄の内訳は、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2020年11月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,303,803	93.5
コール・ローン等、その他	861,724	6.5
投資信託財産総額	13,165,527	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(13,091,027千円)の投資信託財産総額(13,165,527千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=103.35円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月9日現在)

○損益の状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,243,633,627
コール・ローン等	609,526,659
公社債(評価額)	12,303,803,526
未収入金	142,203,288
未収利息	181,393,285
前払費用	6,706,869
(B) 負債	151,546,153
未払金	151,546,153
(C) 純資産総額(A-B)	13,092,087,474
元本	5,572,436,805
次期繰越損益金	7,519,650,669
(D) 受益権総口数	5,572,436,805口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,494円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	413,327,728
受取利息	412,759,303
その他収益金	568,425
(B) 有価証券売買損益	449,471,859
売買益	946,611,980
売買損	△ 497,140,121
(C) その他費用等	△ 784,385
(D) 当期損益金(A+B+C)	862,015,202
(E) 前期繰越損益金	7,087,806,998
(F) 追加信託差損益金	45,970,006
(G) 解約差損益金	△ 476,141,537
(H) 計(D+E+F+G)	7,519,650,669
次期繰越損益金(H)	7,519,650,669

<注記事項>

期首元本額	5,894,080,086円
期中追加設定元本額	35,182,143円
期中一部解約元本額	356,825,424円
元本の内訳	
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	5,130,417,109円
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	442,019,696円

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(注) 損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

第10期 運用状況のご報告

決算日：2020年7月17日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価 額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期 中 騰 落 率				
	円		%	%	%	百万円
6期(2016年7月19日)	10,036		0.0	66.9	—	165
7期(2017年7月18日)	10,031		△0.0	89.5	—	167
8期(2018年7月17日)	10,025		△0.1	64.8	—	155
9期(2019年7月17日)	10,018		△0.1	68.7	—	146
10期(2020年7月17日)	10,010		△0.1	94.6	—	142

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

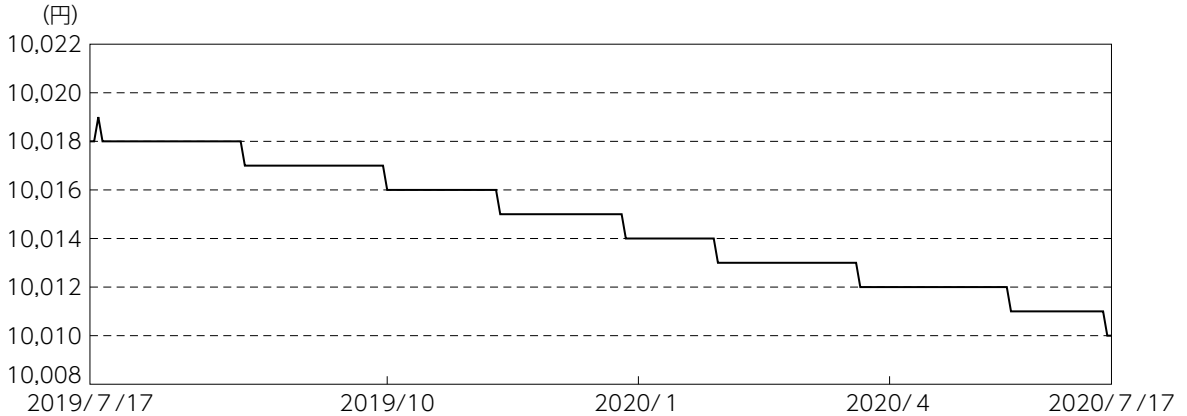
年 月 日	基準	価 額		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率			
(期首)	円		%	%	%
2019年7月17日	10,018		—	68.7	—
7月末	10,018		0.0	96.0	—
8月末	10,018		0.0	96.0	—
9月末	10,017		△0.0	97.2	—
10月末	10,016		△0.0	62.5	—
11月末	10,016		△0.0	91.3	—
12月末	10,015		△0.0	56.3	—
2020年1月末	10,014		△0.0	56.2	—
2月末	10,014		△0.0	91.4	—
3月末	10,013		△0.0	73.2	—
4月末	10,012		△0.1	73.2	—
5月末	10,012		△0.1	73.1	—
6月末	10,011		△0.1	66.3	—
(期末)					
2020年7月17日	10,010		△0.1	94.6	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2019年7月18日～2020年7月17日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、保有債券の利回りがマイナス圏で推移したことが、マイナス要因となりました。

投資環境

(2019年7月18日～2020年7月17日)

短期金融市場では、1年国債利回りがレンジ内で推移する展開となりました。米中貿易摩擦の激化を背景に景気減速懸念が強まり、世界的に債券利回りが低下したことや日銀の追加金融緩和観測の高まりなどを受け、2019年10月上旬に1年国債利回りは-0.30%台へ低下しました。しかし、米中通商協議の進展や日銀のマイナス金利の深掘り観測が後退したことにより、2020年1月上旬に1年国債利回りは-0.10%へ上昇しました。その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う景気減速懸念を背景に、3月上旬にかけて1年国債利回りは-0.2%台後半へ急低下する場面がありましたが、日銀がマイナス金利の深掘りを見送ったことから、利回りが急上昇しました。ただ、4月以降は、-0.15%近辺でもみ合う動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年7月18日～2020年7月17日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年7月18日～2020年7月17日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

〇1万口当たりの費用明細

(2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、10,014円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2019年7月18日～2020年7月17日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 215,715	千円 — (180,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月18日～2020年7月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年7月17日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	134,000 (134,000)	134,998 (134,998)	94.6 (94.6)	— (—)	— (—)	— (—)	94.6 (94.6)
合 計	134,000 (134,000)	134,998 (134,998)	94.6 (94.6)	— (—)	— (—)	— (—)	94.6 (94.6)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）		%	千円	千円	
第120回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.9	54,000	54,148	2020/10/30
第122回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.9	3,000	3,010	2020/11/30
第126回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	3,000	3,019	2021/1/29
第133回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.3	30,000	30,318	2021/4/30
第137回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	40,000	40,482	2021/6/30
第19回政府保証地方公共団体金融機構債券		1.2	4,000	4,019	2020/12/14
合 計			134,000	134,998	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	134,998 千円	94.6 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,688	5.4
投 資 信 託 財 産 総 額	142,686	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	142,686,289 円
コール・ローン等	7,114,469
公社債(評価額)	134,998,813
未収利息	189,748
前払費用	383,259
(B) 負債	73
未払利息	8
その他未払費用	65
(C) 純資産総額(A-B)	142,686,216
元本	142,536,794
次期繰越損益金	149,422
(D) 受益権総口数	142,536,794口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,010円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0010円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は146,031,004円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は3,494,210円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	94,638,188円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	26,700,315円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	13,944,816円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジなし)	2,483,390円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) ユーロコース	2,369,068円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	1,295,140円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) 円コース	603,537円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジあり)	502,340円

○損益の状況 (2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,070,975 円
受取利息	1,082,273
支払利息	△ 11,298
(B) 有価証券売買損益	△1,177,644
売買損	△1,177,644
(C) その他費用等	△ 2,169
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 108,838
(E) 前期繰越損益金	264,050
(F) 解約差損益金	△ 5,790
(G) 計(D+E+F)	149,422
次期繰越損益金(G)	149,422

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。